

2024 年 7 月 7 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・ 氏名（グループの場合は代表者）：鳥羽 幸信
・ 年齢：
・ コールサイン（局免許保有者の場合）：J O 1 L N K
・ 連絡先 住 所：
メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
3. アイデア名： ハンディ無線機限定のコンテスト開催
4. アイデアの概要（200 字以内）：
最近、ハンディ無線機一つで開局する人が増えていると聞きます。
そんな人たちがなかなか交信できずに無線から離れていっているとも聞きます。
ハンディ無線機＋本体直付けアンテナ縛りとすることで、機材の影響を受けることなく新人でも優勝できるコンテストを提供します。
最新のハンディ機毎のランキングもあわせて公表し、新人が勝ちやすくすると共に、旧人には最新のハンディ機を購入するモチベーションも与えます。
5. 詳細説明（図表を含めて4 頁以内）：

後述する通り、「アマチュア無線の魅力向上」には、次の3 軸での改善が必要と考えています。

- ① アマチュア無線のモダナイゼーション
- ② アマチュア無線のソーシャライゼーション
- ③ アマチュア無線のコンプライアンス

このうち「① アマチュア無線のモダナイゼーション」の具体例として「ハンディ無線機限定のコンテスト開催」を提唱するものです。

愛好者が高齢者層に偏るアマチュア無線ではありますが、既に昔の常識が今の常識ではありません。現代は、アマチュア無線に限らず多様性が重視される時代です。新しい価値観でコンテストを再定義してみた次第です。

一般的にはロケの良い場所で大きなアンテナを建てて高出力で送信することで、多くの方と交信できると思われていますが、あえてハンディ機＋附属のアンテナに機

材を限定することでイコールコンディションの競争の場を提供できると考えます。

コンテスト中の移動を OK にし、SNS 上へのセルフスポットも OK とすることで現代に即した形での工夫の余地を作ります。

また、健全なアマチュア無線界の発展にはメーカー各社が健全に利益を上げるビジネス市場の形成が必要だと考えています（ライセンスフリー無線の市民無線では、無線機メーカーが無い状態で平成 34 年のスプリアス規制強化を迎えることになり、その存続にかなりの苦労がありました）。そのために、この手のコンテストが新しい無線機の購入機会になるようなルールの設定も必要と考えています。それが、最新ハンディ機種毎のランキング公表です。既に King of Hobby と言われた過去の栄華に頼れる時代ではありません。メーカーの撤退に歯止めをかける必要もあると考えます。

さて、冒頭でお話した改善の 3 軸についても簡単に説明させていただきます。まずは、次ページの表の通り、何点かの観点について私の開局時と現在の比較を実施してみました。見ていただくとわかるように、既に昔の常識は今の常識ではありません。価値観は人それぞれです。

これに合わせアマチュア無線界の考え方を現代風に変えることが ①アマチュア無線のモダナイゼーション です。決して昔の常識を否定するものではなく、多様性を許容することで、一般社会からの置き去り感を無くすることが目的です。

その上で、社会でのアマチュア無線の認知度を上げる必要があります。既にアマチュア無線という言葉すら知らない世代が大人になりつつあります。これを改善するのが ②アマチュア無線のソーシャライゼーション です。社会とのかかわりを持つためにアマチュア無線で社会貢献を行うことを意味しています。米国では、災害時のネットワーク構築の AREDN があったり、マラソン大会の運営をアマチュア無線家がサポートしたりしていると聞きます。一般社会生活との接点を持つことで、普段の生活でアマチュア無線を見る機会を作ることが重要です。

そして、ニューカマーが安心してアマチュア無線を継続するために必要なのが、一般社会なみの ③アマチュア無線のコンプライアンス です。交信時の高齢者による若者へのパワハラ、セクハラのような問題が時々 SNS をにぎわせています。これはアマチュア無線界として徹底的に止める必要があります。

以上、3 軸での施策をそれぞれご提案させていただきます。発表の機会をいただければ、もう少し詳細にお話ししたいと考えています。

表1 アマチュア無線の価値観の比較

観点	昔（40年前）	今	備考	モダナイゼーション	ソーシャライゼーション	コンプライアンス
ライセンス	第1級アマチュア無線技士が一番偉い	無資格でライセンスフリー無線を楽しむ人も多い	決してアマチュア無線がライセンスフリー無線よりも高尚とは思われていない	○		
送信出力	QRO	QRPで楽しむ人も増加	特定小電力トランシーバーでの遠距離交信	○		
QSLカード	JARL経由で紙カードを交換が一般的	紙カードの他、eQSLやLoTW等の電子的な形態も増加。 QSLカードには興味の無い層も一定数		○		
アンテナ	高いタワーに八木アンテナが憧れ	大きなアンテナを建てられる人は減少（景観条例や近所の目）	米国ではステルスアンテナも普及	○		
運用場所	固定やモバイル	固定でもモバイルでもない移動運用が増加	SOTAやPOTAが人気に	○		
無線機	大型機が憧れ	ハンディだけの開局も普通	自作機の偉大さは既に伝わらない	○		
モード	FMやSSB、CW	FT8等のデジタルの台頭	AMはむしろノスタルジーとして普及	○		
世の中のイメージ	King of Hobby	盗聴？ 携帯電話があるのに・・・	「何が面白いの？」 定番の質問	○	○	
若い人の情報源	雑誌（CQ誌、ラジオの製作、初歩のラジオ）	YouTube、SNS	ももチャンネルを見てライセンスフリーを始めた人は多い	○	○	
日本の人口	第二次ベビーブーム	過去最低出生率	人口は減少中	○	○	
働き方	24時間、戦えますか？	コンプライアンス重視	パワハラ、セクハラは許さない風潮重要	○		○
企業の考え	年功序列	DEI、SDGs	多様性重視、否定しない	○	○	○
ボランティア	少数	一般的		○	○	
プライバシー	住所録作成が一般的	交信時の本名公開も抵抗ある層あり		○		○
ジャンク	宝の山	ゴミの山と見る層も増加	何かきれいなイメージを作る必要あり	○		○